



おひさま

山形市立第五小学校
学校だより
令和8年9月25日
校長
No. 5 太田 千春

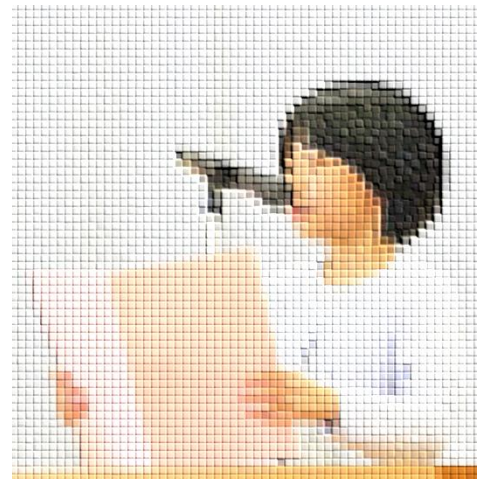
To walk a mile in someone else's shoes 相手の気持ちになって、考えてみよう

去る7月28日に発生した熊本県での地震、並びに8月13日から14日未明にかけて千葉県を襲った記録的な豪雨等、この夏も各地で自然災害が発生し、尊い人命が失われるとともに、甚大な被害がもたらされました。お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復旧・復興が進み、子供たちが安心して通常の教育活動に戻ることができるようお願いしております。

さて、先月25日（火）に第2学期の始業式を行いました。子供たちには、今年度の児童会目標である「おひさまの心で 毎日が楽しく 行きたくなる学校」について話をしました。「おひさまの心」とは、どんな心のことを言うのかを問いかけた後、「To walk a mile in someone else's shoes」（誰かの靴を履いて1マイル歩く）というイギリスの諺を紹介しました。この諺には、「相手の気持ちになって、考えてみよう」という意味があります。友達が鉛筆をなくして泣いている時にどんな言葉をかけるかを例に、相手の気持ちを自分のことのように感じる「共感」について説明し、誰かに何かを言ったり、したりする前に、心の中で「相手の靴をはいてみよう」と呼びかけました。第五小学校に通うみんなが、お互いの気持ちや立場を理解し大切にする「おひさまの心」をもって毎日を過ごし、目指す学校を自分たちで創り上げていってくれることを期待しています。2学期は運動会やおひさまフェスタ、修学旅行などの学校行事もたくさんあります。みんなの笑顔があふれる楽しい2学期になるよう、子供たちを精一杯支えてあげたいと思います。

児童代表として、2学期のめあてを発表してくれた5年生のY. Aさんは、2学期に頑張りたいこととして「家庭科のミシンの学習」、「運動会の係活動」、「自主勉強」の3つを挙げ、自分の中で「できた」と思えることを少しずつ増やしていけるよう、何事にも前向きに取り組んでいきたいという思いを語ってくれました。その一部を紹介します。

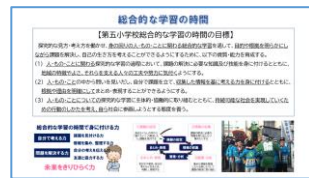
わたしが2学期にがんばりたいことは、3つあります。
（中略）3つ目は、自主勉強です。私は、「1日50分学習すること」「5教科のうち、3教科分の内容に毎日取り組むこと」「内容がかたよらないようにすること」を目標に毎日の自主勉強を続けています。しかし、1学期が学習時間が50分に届かなかったり、5教科のうち2教科しか取り組めなかったり、漢字練習にかたよってしまったりすることがありました。2学期は、1学期に見つけた課題を少しずつ直していきながら、毎日の学習を続けていきたいです。



第2回学校運営協議会を開催しました

9月11日（金）、今年度2回目の学校運営協議会を開催しました。協議会では、今年度こまでの本校の教育活動について説明した後、6月25日付のおひさまNo.3でご報告申し上げたいじめアンケートの結果と、今年度の全国学力・学習状況調査の結果を基にご協議いただきました。

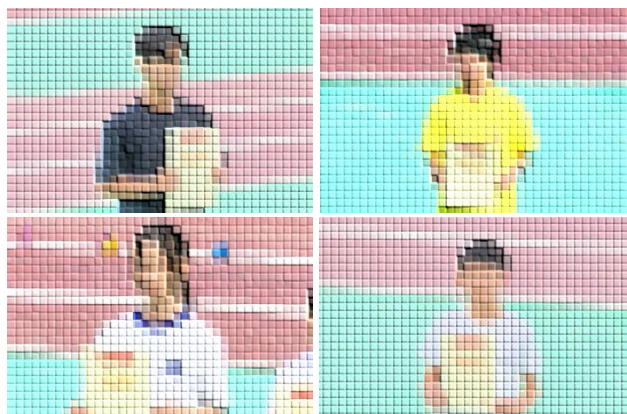
その後の「熟議」では、今年度の総合的な学習の時間の取組について、子供たちや各担任から寄せられた相談を基に、地域の有する貴重な学習材や人材に関する情報を提供いただくとともに、地域として協力いただける場面等についてもアイディアを出していただきました。今後、子供たちによる探究が深まっていく中で、ウェルビーイングの実現につながるワクワクした活動が繰り返されていくことを楽しみにしています。



県陸上競技交流大会

9月13日（日）、NDソフトスタジアム山形において山形県小学生陸上競技交流大会が開催され、先の山形市陸上記録会で上位入賞した4名の選手が出場しました。友達や家族の応援を力に、自己ベストの記録に挑戦して全員が入賞を果たし、満足した表情を浮かべていました。おめでとうございます！

100m走	T. Y	6位入賞
走り幅跳び	M. S	優勝
	S. Y	4位入賞
走り高跳び	N. M	5位入賞



総合避難訓練を実施

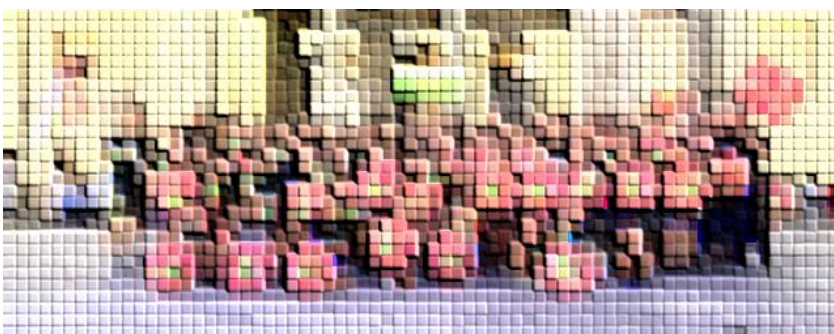
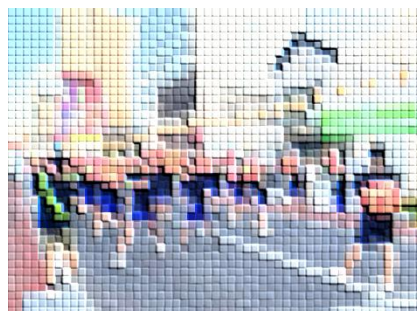
9月4日（金）、山形市消防本部の指導の下、火災を想定しての総合避難訓練を実施しました。自分の命を守れるようになるための大切な学習です。今回は、中間休みにおける予告なしでの訓練でした。非常ベルが鳴ってから避難するまで、一人一人が放送をよく聞いて状況を理解し、自分のいるところからどの経路を通して避難するかを判断し、適切に行動しなければなりません。教職員も初期消火や避難誘導のほか、校内巡視、通報などの役割を確認して万が一の事態に備えました。



ハピネス学年 花笠まつりに参加！

今年も8月5日・6日・7日の3日間、「山形花笠まつり」が開催されました。6日のパレードには、本校の「ハピネス学年（第6学年）」の児童、保護者の皆さんが親子行事として参加しました。

祭り当日に向けて、山形大学の花笠サークル「四面楚歌」の方々に教わりながら練習を重ねてきた皆さんです。お揃いのTシャツを身にまとい、「ヤッショ、マカショ、山五小！」の掛け声とともに晴れやかな笑顔で笠まわしを披露し、観客を魅了していました。ハピネス学年の子供たちにとって、忘れられない経験になったことと思います。PTA学年委員長を中心とする保護者の皆さんのご理解、ご協力に、改めて感謝申し上げます。



輪投げ大会

8月23日（日）に、第五地区体育振興会の主催による輪投げ大会が行われ、地域の皆様が多数参加されました。得点板の棒に輪を投げ入れて点数を競うゲームです。どなたでも無理なく安全に楽しむことができますが、縦、横、斜めのいずれか一行を得点するビンゴを達成したり、高得点の棒にねらいを定めて輪を投げ入れたり、白熱したゲームが展開されていました。参加した子供たちも、夏休み最後の楽しい思い出になったようです。



夏休みがんばったこと

夏休みが終わり、今、教室前の廊下や教室背面の棚の上には、夏休み期間中に取り組んだ自由研究や工作、絵画等の作品が展示されています。5年生のH. Yさんは、各地で発生している豪雨災害に関心を持ち、過去の事例をもとに水害の種類や発生原因などを調べました。また、私たちの住んでいる第五学区にも内水氾濫のリスクがあることが分かり、必要となる事前の備えや災害発生時に危険を回避するための行動などについてまとめることができました。

身の回りには気になることや不思議なことがいっぱいあります。子供が知的好奇心をもって身近な事象に接し、その中で得た気付きから疑問を形成して課題として設定することや、予想通りにいかないときにどうしてそうなるのか原因を考え、工夫して解決することはとても大切です。一つことを最後までやり遂げた経験は、きっと子供の自信やその後の成長の糧になることと思います。